

「健康経営」ってナニ？

～“健康経営”ですすめる“働き方改革” & 健康職場づくり～

◎ プログラム

- 13:15 主催者挨拶 神奈川健康づくり推進会議 議長
(公社) 神奈川労務安全衛生協会 専務理事・事務局長 渡辺 辰
- 13:20 【特別講演1】
健康経営の動向と産業保健スタッフの役割 河野 啓子 氏
- 14:10 【特別講演2】
横浜健康経営認証制度について
～産業保健の視点からの展望～ 荒木田 美香子 氏
- 休憩 15:00～15:10
- 15:10 【健康経営企業の事例1】
大塚製薬(株)の“健康経営” 田中 静江 氏
- 16:00 【健康経営企業の事例2】
三井化学(株)の健康経営
～健康経営実行のポイントとその効果～ 土肥 誠太郎 氏
- 16:50 質疑応答(10分以内)

講師紹介 ◎

特別講演 こうの けいこ
河野 啓子
Keiko Kouno

四日市看護医療大学 名誉学長
日本産業看護学会 理事長
帝京大学 大学院 公衆衛生学研究科 客員教授

◎ 講演テーマ・要旨

健康経営の動向と産業保健スタッフの役割

超高齢社会を迎え、労働力人口の減少・高齢化が進んでいます。そのため、企業（組織）の活力や生産性の低下が危惧されています。そこで近年、健康経営がクローズアップされ、国をはじめさまざまな機関で、その推進に向けての施策が展開されています。本講演では、その動向と産業保健スタッフの役割について述べさせていただきます。

特別講演 あらかだ みかこ
荒木田 美香子
Mikako Arakida

国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 副学部長
看護学科 学科長

横浜健康経営認証制度について

～産業保健の視点からの展望～

横浜市は、今後は一気に高齢者数が増加するという課題を持っている。“今”、健康に取り組む企業を増やさなければ手遅れになってしまうという危機感を持っている。横浜健康経営認証制度は「健康横浜21」に基づいて、健康経営を推進する仕組みであり、よこはまウォーキングポイント事業などのツールも作っている。本制度の委員長として、横浜市の取り組みと企業の受け止め方などをご紹介します。

健康経営企業の事例 たなか しずえ
田中 静江
Shizue Tanaka

大塚製薬(株) 人事部 部長補佐
ダイバーシティ推進プロジェクトリーダー
健康管理室長

大塚製薬(株)の“健康経営”

大塚製薬は、社員一人ひとりが健康に生き生きと働けることが大切だと考え、社員自らが健康について理解し、疾病の予防や健康維持・増進に積極的に取り組めるよう、健康セミナーや運動プログラムの提供など多様な活動を行っています。今回は弊社で実施している主な施策をご紹介します。

健康経営企業の事例 どひ せいたろう
土肥 誠太郎
Seitarou Dohi

三井化学(株) 本社 健康管理室長
統括産業医

三井化学(株)の健康経営

～健康経営実行のポイントとその効果～

健康経営は1990年代に米国で提唱され経営概念に始まります。しかし、日本の労働安全衛生法の努力義務を含めて企業が着実に実行すれば、日本型の健康経営になります。健康経営を推進するためには、経営システムに社員の健康を組み込み、自社の課題を抽出し指標を定めPDCAを回すことが重要です。そして健康経営は地道に続けて効果が出てきます。その後に企業にとって経済的メリットがついてくると考えることが大切です。